

偽り申請受給額は約2500万円。不正隠しも

リフレ上越山里振興株式会社における不正受給問題



市議会全員協議会が10日に開催されました。リフレ上越山里振興株式会社における雇用関係助成金の不正受給問題がテーマです。

不正受給については同社が依頼した弁護士が調査結果を報告しました。

それによると、従業員の出勤状況の偽りの報告をして得た不正受給額は約2500万円（ただし、助成金の仕組み上、不正をした以降の申請はすべて不正受給とみなされることから、労働局が認定した不正受給額は3915万余となる）であること、関与者は2人で、動機は「雇用を維持する目的である。その他は詳細不明」としました。また、労働局が調査に入ってから、関与者がヨーデル金谷

のマネージャーに対し、タイムカードを提出しないよう指示を出したり、「くわどりの湯つたりの村」の予約受付表等の一部を破棄するなどの「不正隠し」が行われたことが明らかにされました。

この調査結果を受けて市は、指定管理の取り消しを検討し、早期に令和5年度以降の新たな指定管理者の選定に着手すると表明しました。具体的には、「くわどりの湯つたりの村」については、「将来的な施設の譲渡や貸し付けを前提に指定管理者への参加を提案した民間事業者」があるとして、新たな指定管理者の選定に入る見込みです。また、ヨーデル金谷については、「従業員から独立の提案がある」として、その法人を現在の指定管理の残期間の指定管理者として検討するとしています。

こうした報告を受け、議員からは、「今回の不正受給は詐欺行為にあたると思うが、その認識はあるか」「関与者は2人と断定しているのか、外部者からのアドバイス等の可能性はないのか」「会社の役員会の中身を訊きたい」「会社の負債が大きな動機になって今回の事故が発生していると思うが、市はこの点、どう考えているのか」「取締役の皆さんへの聞き取り調査はしたのか」「市には監督責任がある。市として調査委員会を設置すべきではないか」などの質問が相次ぎました。

これらの質問には調査にあたった弁護士や市の担当者が、



【カンパニユラ・アルペンブルー】キキョウ科・ホタルブクロ属に分類される多年草。草丈は大きいもので30センチくらいです。寒さに強く、極寒地以外では外でも越冬するとか。花期は3月～9月。青紫色で、星のような形をしたかわいい花をたくさん咲かせます。花言葉は、「感謝」「誠実」「節操」。写真は吉川区山直海にて2月14日撮影。

これでいいのか、原発説明会

東京電力ホールディングス(株)が上越市で行った原発説明会に行ってきました。

参加者からは、「福島事故から何を学んだのか。県民の命と健康を害することはないと断言してほしい」「再稼働よりも再生エネルギーに転換すべき

ではないか」「避難道路確保は行政任せにせず、東電も事業者としての責任を果たすべきだ」などの質問が相次ぎました。

東電側の答弁は、全体として、質問にまともに答えようとせず、論点ずらし、答弁無しが目立ちました。



はしづめ法一の
活動レポート

No.2098 2023.2.19

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL http://www.hose1.jp/



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七四五回

座椅子

日曜日の夕方、頸城区でのイベントが終
わってから、上越市の山間部に住む美津子
さんの家に行ってきました。

出かけたのは私の最新エッセイ集、『初
孫誕生』を届けるためです。この日は日
中、青空が広がり、二月とは思えないよう
な陽気でした。雪がどんどん消えていきま
した。

美津子さんの家の付近の積雪は例年なら
二、三層はあるのですが、この日の段階で
は一層ちよっとしかありませんでした。そ
れに家の周囲はよく除雪されていて、三月
下旬のような雰囲気がありました。

着いてすぐ、外にいた美津子さんに「上
がっていきなな」と誘われました。数
か月前にもお茶に誘われていますので、今
回は躊躇なく上がらせてもらいました。
何かありそうな予感がしたからです。

居間に入ると、顔立ちが美津子さんと同
じ高齢の女性が私の正面におられました。
美津子さんのお母さんです。挨拶し、コタ
ツのそばに座ろうとすると、美津子さんか
ら「さあさ、これに座ってくんない」と言
われました。「座って」と勧められたもの
は、高さが二〇センチほどの座椅子でした。

改めてコタツの周りを見ると、座椅子は
四つあり、そのうちの二つには美津子さん
のお母さんが腰かけておられました。

座椅子に座ってコタツに足を入れた途
端、ふわーとした暖かさを感じました。
私の座椅子の脇には温風ヒーターがあり、
そこからコタツに筒が入っていたのです。

私はこれまでお寺などで座椅子を使った
ことはありましたが、コタツに入るときに
座椅子を使うケースは初めて見ました。し
かも、美津子さんの家では、コタツに入る
人は全員が座椅子を使うようになっていた
のです。

美津子さんによると、居間で座椅子を使

うようになったのは、五、六年前からの
ことです。当時はお母さん、お父さんとも
お元気でした。美津子さんは、「としより
しよは立ったり、ねんまったりがたいへん
だったんだよね、膝が痛いし……。とくに
低いところから高いところに立つのがね」と
言っていて、座椅子を使うことになったいき
さつを語りました。

最初は一つだけだった座椅子は、便利さ
がわかると増えていきます。最後は家族み
んなが使うようになりまし。

コタツの周りでは、台所に近い場所に美
津子さん、座敷に近い場所にはお連れ合
い、そしてお父さんとお母さんは並んで
座っていたということ。この位置がテ
レビを観るには一番良かったのです。

この日、座椅子に座らせてもらった私は
美津子さん夫妻、お母さんと四人でお茶飲
みをしました。昨年十一月に亡くなったお
父さんのことや田んぼ仕事のこと、除雪と
家のそばの小さなタネ(池)のことなど
について語り合いました。わが家と共通のこ
とがいくつもあつて話ははずみました。

後で聞いた話では、美津子さんの町内会
では集会場にも座椅子が十数個用意してあ
るとのことです。近くの光円寺にもありま
す。座っていても腰が痛くならない。立ち
上がりが楽になる。高齢化が進んだいま、
座椅子を使うことが当たり前になってきて
いるとのことでした。

正直言って、雪降る越後の山間部で、座
椅子がこんなにも活躍しているとは思いま
せんでした。座椅子はどんどん進化し、サ
イド付きに加えて、回転するものも出てき
ているといひます。

居間の上がらせてもらったおかげで、私
は座椅子を見直しました。もう間に合いま
せんが、美津子さんのご両親が座椅子に腰
かけ、仲良く並んでテレビを観ている姿を
一度見てみたかった……。

上野市議のざっくばらんに何でもトーク

上野公悦市議の地元、
頸城希望館で「ざっくば
らんに何でもトーク」が
開催され、参加してき
ました。

第一部では、武田良介
前参院議員などから国政
のこと、市政のことが報
告され、参加者からは、
「犀潟駅近くの歩道除雪
をしっかりとってほしい」
「よしかわの杜氏の郷
の民間譲渡をどう考えるか」
などの要望や質問が寄せ
られました。

第二部での懇親会では、
「久比岐の里」の歌などが
披露され、楽しいひと
時を過ごしました。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシー
ベルト。1時間当たりの測定量です。
消防署によると、通常は1時間当たり
0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だ
とのことです。

	2月8日(水)	2月15日(水)
上越南消防署	0.050	0.047
上越北消防署	0.043	0.047
新井消防署	0.050	0.053
頸北消防署	0.050	0.053
頸南消防署	0.063	0.063
東頸消防署	0.040	0.040
名立分遣所	0.050	0.050
高士分遣所	0.053	0.047

氷の上でハクチョウは…



先日、東中島の凍った田んぼ
でハクチョウを見かけました。
「ネコはコタツで丸くなる」
という言葉がありますが、ハク
チョウは氷の上で丸くなるん
ですね。初めて、丸くなったハク
チョウの姿を見ました。